

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成20年8月7日(2008.8.7)

【公開番号】特開2002-178553(P2002-178553A)
 【公開日】平成14年6月26日(2002.6.26)
 【出願番号】特願2001-227296(P2001-227296)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 2/395 (2006.01)

G 0 3 G 15/05 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/18 1 0 2 B

G 0 3 G 15/00 1 1 6

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月19日(2008.6.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】画像形成装置及び画像形成方法

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

潜像担持体と、

絶縁性の基材、前記基材を固定する固定部材、及び第1の方向に複数配設されるとともに前記潜像担持体に接触する書込電極を有する書込部と、

前記潜像担持体を現像する現像部と、

前記潜像担持体の像を転写材に転写する転写部と、

前記転写部により前記像を転写した後、前記潜像担持体の電荷を除電する除電部と、を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

前記基材が可撓性を有する請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 3】

前記潜像担持体は剛体であり、前記潜像担持体と前記書込部とを弾性接触させる請求項 2 に記載の画像形成装置。

【請求項 4】

前記潜像担持体は可撓性を有するベルト状の潜像担持体、もしくは可撓性を有するドラム状の潜像担持体である請求項 1 もしくは 2 に記載の画像形成装置。

【請求項 5】

前記基材は剛体であり、前記書込部と前記潜像担持体とを弾性接触させる請求項 4 に記載の画像形成装置。

【請求項 6】

前記潜像担持体及び前記基材は可撓性を有するとともに、前記潜像担持体と前記基材とは弾性接触する請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 7】

前記書込電極は前記第1の方向に複数列配されている請求項 1 から 6 のうちいずれか 1 つに記載の画像形成装置。

【請求項 8】

前記書込電極に印加する電圧を、所定電圧と接地電圧とに切り替える制御部を有する請求項 1 から 7 のうちいずれか 1 つに記載の画像形成装置。

【請求項 9】

前記書込電極は前記潜像担持体の軸方向に複数列に配設させるとともに、隣り合う前記書込電極を千鳥状に配設する請求項 1 から 8 のいずれか 1 つに記載の画像形成装置。

【請求項 10】

隣り合う前記書込電極は前記潜像担持体の軸方向に直交する方向にオーバーラップするように配設される請求項 9 に記載の画像形成装置。

【請求項 11】

潜像担持体に接触するとともに、書込電極に電圧を印加する電圧を第 1 の電圧と第 2 の電圧とに切り替えて印加して潜像を形成する書込工程と、
前記書込工程により形成された潜像を現像する現像工程と、
前記現像工程により現像された像を転写する転写工程と、
前記転写工程により像を転写された前記潜像担持体を除電する除電工程と、
を有することを特徴とする画像形成方法。

【請求項 12】

潜像担持体を帯電する帯電工程と、
前記帯電工程により帯電された前記潜像担持体に接触するとともに、書込電極に電圧を第 1 の電圧と第 2 の電圧とに切り替えて印加して潜像を形成する書込工程と、
前記書込工程で形成された潜像を現像する現像工程と、
前記現像工程で現像された像を転写する転写工程と、
を有することを特徴とする画像形成方法。

【請求項 13】

前記第 1 の電圧は所定の電圧であり、前記第 2 の電圧は接地電圧である請求項 11 もしくは 12 に記載の画像形成方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

【課題を解決するための手段】

本発明の画像形成装置は、上記目鄭を達成するために、潜像担持体と、絶縁性の基材、前記基材を固定する固定部材、及び第1の方向に複数配設されるとともに前記潜像担持体に接触する書込電極を有する書込部と、前記潜像担持体を現像する現像部と、前記潜像担持体の像を転写材に転写する転写部と、前記転写部により前記像を転写した後、前記潜像担持体の電荷を除電する除電部と、を有することを特徴とする。

また、本発明の画像形成装置は、前記基材が可撓性を有する。

また、本発明の画像形成装置は、前記潜像担持体は剛体であり、前記潜像担持体と前記書込部とを弾性接触させる。

また、本発明の画像形成装置は、前記潜像担持体は可撓性を有するベルト状の潜像担持体、もしくは可撓性を有するドラム状の潜像担持体である。

また、本発明の画像形成装置は、前記基材は剛体であり、前記書込部と前記潜像担持体とを弾性接触させる。

また、本発明の画像形成装置は、前記潜像担持体及び前記基材は可撓性を有するとともに、前記潜像担持体と前記基材とは弾性接触する。

また、本発明の画像形成装置は、前記書込電極は前記第1の方向に複数列配されている

。

また、本発明の画像形成装置は、前記書込電極に印加する電圧を、所定電圧と接地電圧とに切り替える制御部を有する。

また、本発明の画像形成装置は、前記書込電極は前記潜像担持体の軸方向に複数列に配設させるとともに、隣り合う前記書込電極を千鳥状に配設する。

また、本発明の画像形成装置は、隣り合う前記書込電極は前記潜像担持体の軸方向に直交する方向にオーバーラップするように配設される。

また、本発明の画像形成方法は、潜像担持体に接触するとともに、書込電極に電圧を印加する電圧を第1の電圧と第2の電圧とに切り替えて印加して潜像を形成する書込工程と、前記書込工程により形成された潜像を現像する現像工程と、前記現像工程により現像された像を転写する転写工程と、前記転写工程により像を転写された前記潜像担持体を除電する除電工程と、を有することを特徴とする。

また、本発明の画像形成方法は、潜像担持体を帯電する帯電工程と、前記帯電工程により帯電された前記潜像担持体に接触するとともに、書込電極に電圧を第1の電圧と第2の電圧とに切り替えて印加して潜像を形成する書込工程と、前記書込工程で形成された潜像を現像する現像工程と、前記現像工程で現像された像を転写する転写工程と、を有することを特徴とする。

また、本発明の画像形成方法は、前記第1の電圧は所定の電圧であり、前記第2の電圧は接地電圧である。